

さわねざわ

創立110周年
校舎改築 記念誌



1983

泉市立実沢小学校

さわねざわ

創立110周年
校舎改築記念誌

1983

泉市立実沢小学校

———— さ ね ざ わ 目 次 ————

実沢小学校改築落成に当って	改築促進委員長	ページ
	伊東 徳得	1
この地に学ぶ子らの幸を永遠に念じて	校長	
	伊藤 昭平	2
ごあいさつ	泉市長 鈴木 幸治	3
待望の新校舎落成を喜ぶ	教育長 萱場 勘三	4
実沢小学校110年のあゆみ		5
実沢小学校の思い出		
入学当時の思い出	赤間 幸太	9
大正改築頃の思い出	横田 清作	10
なつかしい思い出	相沢 うの	10
思い出のまなびや	高橋 長一	11
尋常小学校最後の卒業	高橋 忠治	12
戦時中の小学校生活	星 まつ子	13
よく働き、工夫して遊んだ小学の頃	渡辺 昭	14
放送係の思い出	赤間 信一	15
「かくれんぼ」	渡辺 匡子	16
市費予算・PTA予算		17
PTA活動一覧		17
校舎建築概要		18
念願の新校舎完成に感謝して	PTA会長 赤間 武夫	19
新しい校舎	6年 梅津 公恵	19
建設促進委員会名簿		20
現職員名簿		20
実小の一年		22~29



実沢小学校改築落成に当って

実沢小学校改築促進委員長 伊 東 徳 得

実沢小学校は、明治6年開校ときいています、他校に比して長い歴史を持つ学校であると思います。以来いろいろの国政の変動と改革が行なわれ、内外共に多事多難なかで、百拾年の長い歴史をつみ重ねてきました。その間、当校舎は、大正九年に改築されて以来60余年経過しました。当時は村民の方々が苦勞して建てられたものと思いますが、時と共に老化し、特に宮城沖地震により校舎の傾斜、すきま等はなはだしく、また内部施設や教材その他いろいろの面で、現代の教育環境に不適な状態に到りました。そして、昭和55年9月当時のPTA会長である赤間豊氏の提案により、校舎改築を市当局へ陳情すべく実沢小角の両区、PTAにより実沢小学校改築促進委員会を結成し、当学区選出の高橋忠治市会議員、河田、伊藤両校長及び職員一同の協力を頂き、再三にわたり市当局へ陳情請願を申し上げた結果、市当局の教育に対する深いご理解と配慮により、当校舎の改築が実現し、盛大な落成式をあげることができて誠にめでたい限りであります。改めて、心からお礼を申し上げます。

学校は心身共に健全な子供達を育成する場であると同時に、地域の文化センターでもあります。学校が立派に成長すれば、地域の文化も向上し、地域が発展するものと信じます。今までいろいろと協力して下さった皆様方、並びに校舎建築工事にあたられた熱海建設の方々に衷心よりお礼を申し上げてご挨拶といたします。



この地に学ぶ子らの幸を永遠に念じて

校長 伊藤 昭平

明治4年の太政官布告による文部省創設、そして翌5年学制公布により、以後「必ず邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめんことを期す」と、四民平等無差別の国民皆学が説かれ、近代教育の創始を告げてより110年になります。

実沢小学校も、明治6年七北田村上谷刈小学校として同地字山田に開校、同年9月上谷刈堰合62に新築移転、同13年実沢小学校として独立、と変遷を経て110年の歴史を重ね、今21世紀に向け大きく飛躍しようとしております。この間2,988人の卒業生を送り出しました。これらの先輩は、ふるさとをこよなく愛し実沢小学校を育て、地域社会に大きく貢献しその発展に尽されました。

このたび、大正9年建築後、多くの人材を育んだ校舎がまったく新しく改築され、学区民一同の悲願が実を結び、ここに学ぶ子らの前途に洋々たる希望が開けたことを喜ぶものであります。実沢小学校の発展は地区住民の幸につながり、この記念すべき年を契機に、職員、児童はさらに発展向上を願うと共に、先輩の築いた輝かしい伝統を守り発展させるべく、その責任の重大さを痛感するものであります。

最後になりましたが、これまでに寄せられた市ご当局、促進委員の皆様、父母教師会、並びに地区民の方々の、物心両面にわたる多大のご援助ご協力により、本記念事業が実施できましたことを深く感謝申し上げあいさついたします。



ごあいさつ

泉市長 鈴木幸治

このたび実沢小学校の古い木造校舎が、見事な近代的校舎に生まれ替わりました。待望久しかったことだけに、児童の皆さんやご父兄の方々をはじめ、先生方を含めた学区民の皆さんに、心からお喜びを申し上げます。

私たちといたしましても、長いことお待たせしましたことだけに、やっと肩の荷が軽くなったようなすがすがしい気分になっています。泉市は皆さんご存知のように、団地を中心とした人口の増加が著しいものがありましたので、学校建築なども当然そちらの方が優先されることになり、なかなか本校まで順番がまわって来なかったので申し訳なく思っていたところでしたが、このたびやっと念願を果たすことができ、ほっとしているところです。

皆さんには、あのうすぐらい校舎で、本当に長いこと我慢していただきました。でも先にできた学校の長所を、こんどの建築にどんどん取り入れておりますので、それだけ立派な校舎ができたものと喜んでいきます。児童の皆さんはどんなにかうれしく、はずんだ気分勉強にスポーツに精を出してられるかを思いますと、ついこちらもうれしくなっています。どうか皆さん、この新しい校舎を末永く可愛がってください。

いま本校の歴史を沿革史で見ますと、明治六年に上谷刈村、古内村、野村村及び実沢村の四ヶ村を学区とする上谷刈小学校として創立されたのが始まりであり、その後明治13年に実沢村飛鳥原に新校舎が建設され、この年上谷刈小学校より分離独立して実沢小学校が発足したという歴史をもっています。したがって今年ちょうど創立より110周年の記念すべき年にあります。

かような経過をたどり、その後幾度かの増改築を経て現在に至っていますが、この間の卒業生は数千人の多数に上ると見られ、地元泉市は勿論、広く社会の各層各分野に活躍しておられます。

終りに、今回の新校舎落成を機に、実沢小学校に学ぶ児童諸君のご成功と、本校の末永いご繁栄を心から祈念してごあいさついたします。



待望の新校舎落成を喜ぶ

教育長 萱場 勘 三

このたび、念願の実沢小学校々舎改築事業が完成し、新しく整った教育の場で、児童達が勉強できるようになったことを、心からお喜び申し上げます。また、この事業を長く歴史に留めるべく、記念誌を刊行されましたことは、極めて時宜を得た事業であり、教育関係者として、敬意と感謝を申し上げる次第です。

これまでの旧校舎は、大正9年に第1期造成をし、同12年に一応の完成を見たのであります。その後昭和28年に増築し現在に至りました。

したがって、60年の風雪に耐え、長い歴史を刻み、数知れぬ思い出を抱き、地域の人々から親しまれて来た貴重なものであります。

然し、老朽化は年毎に進み、現代化教育手法推進にも不便を来す状態となり、早くから改築が検討され、地域は勿論、各方面からの強い要請もされていたのでした。

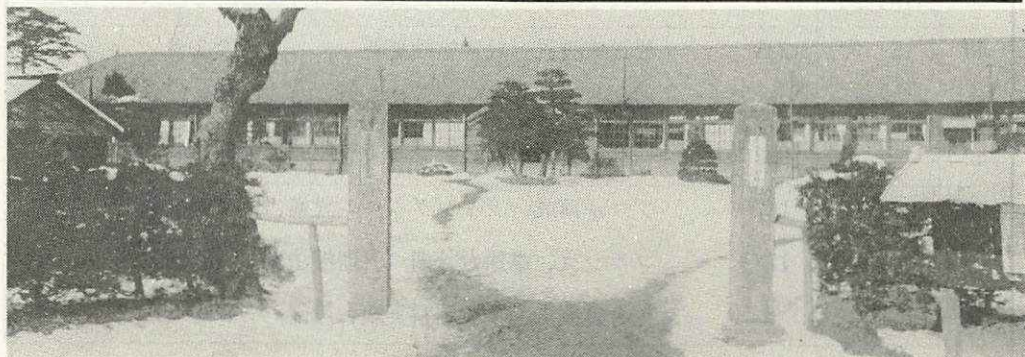
一方学校改築に対する国庫負担対象条件等のからみから、改築確定がのびのびにならざるを得なかったのでありますが、たまたま校舎の耐力度基準の臨時的改善が行われたので、機を逸せずこれを取り入れたのが、改築実現となったのであります。

開校以来110年の輝かしい歴史と伝統をもつ当小学校が、この新校舎完成を節目として、新しい地域文化の中心ともなり、おらが学校として、大事に育てていただくことを期待し、あいさついたします。

実沢小学校 110年のあゆみ

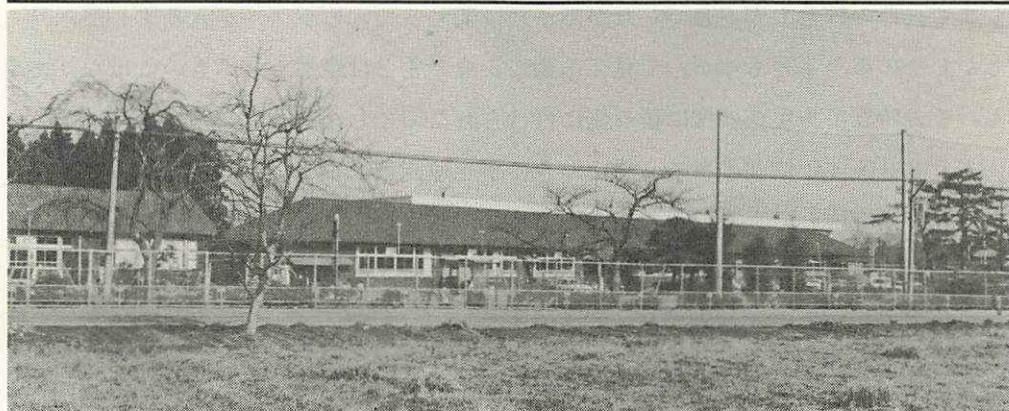
年号	歴代校長	児童数	学 校 の あ ゆ み
明治 6			5月 第7大学区第1中学区第16小学区上谷刈小学校と称し、 宮城郡上谷刈村古内村野村実沢村及び小角村を以て、 一小学区となし、上谷刈村入山田圃柳沢寺内に設ける。
9			10月 上谷刈62番地（上谷刈村字舞台圃62番地）に校舎新築移転 する。（縦2間横3間の校舎1棟）
11			2月 根白石村字畑中に支校を設け、11月に民家を借り、裁縫科 を設ける。
13			11月 実沢区飛鳥原に校舎を建築（長さ7間、幅3間半）し、 実沢初等小学校と称し、畑中の上谷刈支校を本校の支校と する。（仮校舎を林泉寺宮前堂場に充てる）
15			11月 中等小学校に列せられる。
17	初代 志賀時熙		1月 畑中支校を廃止 8月 学制更正により、初等小学校に指定される。 再び中等小学校となり、根白石小学の学区であった小角区 を当校の学区とする（長さ13間、幅3間、4教室新築）
19			9月 学校令の頒布と共に尋常小学校となり、実沢尋常小学校と 称した。（旧畑中分教場を移転 本校東南端につける）
20	2代 中川父寛	125	
21	3代	143	
23	千葉善三郎	129	11月 教育勅語謄本拝戴
27		157	3月 明治天皇 昭憲皇太后 御真影拝戴
34			12月 現敷地に校舎を移転

年号	歴代校長	児童数	学 校 の あ ゆ み
36			8月 障子をガラス窓に改装
41			10月 戊申詔書拝戴
42	4代	157	学校林3町1反設定
44	木村 学	81	10月 校舎東端に2坪の便所を増設
45		172	4月 学級数4学級
大正 2			校門に石門を設置
4		168	大正天皇、皇太后 御真影拝戴
7			補習科及び季節部補習学校を附設
8		196	8月 雨天体操場兼講堂新設 教員住宅建築
9		211	校地拡張校舎改築、本校180坪、屋体50坪、宿舎18坪 図書館設置
10	5代	205	10月 前年からの旧木造校舎改築事業完成
	佐藤広志		校舎裏に井戸を堀る
11		209	校歌、校旗制定 学制頒布50周年記念事業の一つとして 児童体操制定
12			補習学校を改称し、実沢農業補習学校と独立
13	6代	221	
14	佐藤健一郎	237	学級数5 教室、職員室、補習教室 各1を増築
昭和			
3		239	9月 朝香宮鳩彦王御成り 校門標札(セトモノ)設置
4	7代		4月 裁縫室を職員室まで拡張したため、応接室を職員室に充当 植樹 吉野桜20本
	西方三郎		



年号	歴代校長	児童数	学 校 の あ ゆ み
8	7 代	229	4 月 学級数6となる
10	西方三郎	251	8 月 青年学校併設
12	8 代	247	5 月 増築校舎落成（普通教室1 裁縫室1 宿直室1）
15	及川 旭	258	4 月 青年学校（実沢）廃止 根白石村青年学校となる
15			10 月 校旗・校名染換 南校門接損のため新設 旧校門東へ移設
16			4 月 実沢国民学校と改称
18	9 代	236	実沢国民学校児童保護者を会を改組拡充する
19	木村安雄	245	製炭指導実習用窯設置
20		287	1 月 二宮金治郎像建設 仙台空襲により児童数増
21	10 代	275	9 月 母姉会創立
22	遠藤主税	272	根白石村立実沢小学校と改称 学級児童文庫設置
23	11 代	291	父母教師会結成 裁縫学校併設
26	京増 保	277	電話架設
27	12 代	261	国旗掲揚塔建設
28	大場清四郎	252	3 教室増築 体操場移転 校地拡張 給食実施
29		250	ピアノ備付
30		261	泉村立実沢小学校となる 防火用水池 足洗場完成
31		278	水道工事完成（根白石 七北田合併）
32	13 代	278	泉町立実沢小学校となる
35	鈴木長一	237	校庭運動具の新設
36	14 代	264	学力向上協力校指定（県教委）裁縫校廃止
38	岩間哲平		給食室改造 完全給食実施 旧村役場門を西入口へ移転
40	15 代	235	放送室設置 放送施設更新 テレビ増設3台
41	長尾勝一	215	西校舎移転（学区民一部負担）屋内体育館新築 風呂改造
42		202	文部省委嘱家庭教育学級設置 校舎前面東側側溝工事
43	16 代	187	プール落成 ジャンブルジム設備、県道側金網工事完成
44	斎藤 昇	173	ブランコ、卓球台設備 理振法適用（3回目） 校舎裏側溝工事 理科実験台設備

年号	歴代校長	児童数	学 校 の あ ゆ み
45	16 代	160	回施塔・リコピー備付
46	斎藤 昇	146	泉市立実沢小学校となる 文部省委嘱家庭教育学級設置
47	17 代	146	ピアノ購入 創立100周年記念植樹 小庭園造成
	高村長男		遊具施設更新 校庭暗渠工事
48		130	校舎内外全面改築工事約1,500万円
49			社会学級講座開設
50	18 代	146	校旗更新
51	清水誠次		福祉教育普及校指定 飼育小鳥小屋設備、校舎屋根ふき替 サッシ取付
52	19 代	125	福祉教育普及指定校（2年目）
	門間邦夫		文部省委嘱家庭教育学級設置 焼却炉設置
53		119	宮城県沖地震被害（6月12日）体育館 音楽室屋根ふき替 屋外体育遊具施設更新 エレクトーン購入
			校内放送設備充実 輪転機、コピー機購入
54		128	旧校長住宅 用務員住宅 倉庫撤去 プレハブ倉庫建設 電子コピー機購入
55	20 代	127	地区倉庫撤去 灯油倉庫改築 防犯灯設置
	河田紀元		バックネット更新
56		127	テレビ3 書架5 教卓6購入
57	21 代	138	校舎全面改築工事（鉄筋コンクリート2階建） （58. 3. 30 落成）
	伊藤昭平		



実 沢 小 学 校 の 思 い 出

入 学 当 時 の 想 い 出

赤 間 幸 太

私は明治三十二年、泉ヶ岳村實澤尋常小学校に数え6歳で入学致しました。

当時も今の様に、入学時の年令の決まりはありましたが、そこは昔の事、学校に入学して見れば3、4才位年の多い人、又は1才位少ない人など年令はさまざまでした。小学校4年制で、一学年に22人～23人位だったと記憶しております。又男の生徒がだんぜん多く女の生徒は一学年に2～3人位だったと思います。

当時の校舎は現在の校舎の南後ろ安部勝治魚店のすぐ前に位置しており、教室数は4教室と職員室、宿直室だけでした。校舎の屋根は萱ぶきで、教室は南向きの腰高の障子が立てられており、その外側に6尺の廊下があり、冬などはその廊下にしばしば雪が積る事もあり、非常に寒かった想いが残っております。当時、勉強したものは、国語、そろばん（今の算数）、習字の三科目だけでした。

現在、校舎の南側に大きな松の木が数本育っておりますが、私の小さな頃はその松の木も小さくて、水田に植える苗を育てる苗代の土手にあったものです。現在の校庭はほとんど畑だったと思います。

今の場所に校舎が移されたのは、私が8才位の時（明治34年）だった様な気が致します。その校舎も萱ぶきでしたが障子戸に変わって、ガラス戸が入りました。しかしそのガラス戸もゆがんで見える物で、今の物とは全然くらべものにはなりません。その時廊下も現在の様に後ろ側に付けられたのでした。

もう83・4年位前の事で、思いつきの事を連記致しました。

新校舎が完成と云う事で、色々とその事にたずさわり、御尽力下さいました皆様に心よりお礼申し上げます、私の思い出と致します。

最後に、新校舎完成おめでとうございます。

大正改築頃の思い出

横田清作

私が入学したのは大正7年である。この年の夏休み、教室に残してきた。習字用具をとりに来てみると、教室には釘づけされて入れない。困っていると、同級生の木村吾一君が、窓ガラスの破れたところからもぐってとってくれた。これが大正改築の思い出である。何せ、荷馬車の時代を迎えたばかりの大工事である。今と違ってブルトーザはないが、石屋さんが小屋森石をカッチン、カッチン叩く、木挽さんは大のこぎりで、ズイコン、ズイコン板を挽く。屋根瓦を作るために、瓦屋さんが仙台より小角に移ってきて、竈を築いた。私達は体力に応じて、1枚、2枚宛と瓦を運んだ。

こうしてみんな働いたおかげで翌年、50坪の雨天体操場が完成した。これを3教室に間仕切して移った。北側が私たちの学級であった。

然し、この前の旧校舎についての記憶はおぼろげである。補習科の教室が紙の障子窓であったこと、職員室の入口が廻転ドアで、その丸い把手が子供心にも異様に感じられたことぐらいで、あとあまりない。

晴れて新校舎に移ったのは3年生のときで、落成式は更に翌年、私の4年のときである。校長先生も代られて、改築時の木村校長先生は来賓として式に臨まれた。校庭には舞台が作られ夜おそくまで、お祝いの演芸があった。校旗、校歌はこの時制定されたもので、校旗は在仙同窓生の寄付、校歌は当時の七北田、根白石両村の先生方の合作といわれ、早坂先生が代表者となっている。作曲の方は根白石出身宮城師範の訓導、荒井氏で、国見一丁目に健在と聞く。

この年、玄関前に赤松5本の寄植を作った。松をつけた荷車の梶棒をにぎった早坂先生、車の側、後について押したり、ひいたりする5年生、6年生の先輩のいきいきとした、新しい学校づくりにいそしんだ姿が今でも鮮やかに思い出せる。

(大正13年3月卒)

なつかしい思い出

相沢うの

この度実沢小学校の大正時代の思い出を書くようにとの事ですが、思い出と言っても今から数十年も前の事なので記憶もうすれ、中には思い違いなども多いと思いますが、過ぎ去った記憶をたどりながら私なりに書いてみました。私が入学したのは大正11年の事、当時の生徒数はたしか200人前後ではなかったかと憶えています。

先生は6人で各教室は校長先生始め各先生方が、それぞれ受持っておられました。思い出の中には年1回の遠足、修学旅行があります。遠足は下級生が加茂神社、又は実沢上の原の鳴神様、5年6年の上級生は、たいてい汽車旅行で、その時は必ずと言っていい程、岩切駅まで歩いて、そこから汽車に乗ったものでした。又当時学校側が部落別に決められた幾つかの組があつて組長がいて登校の時など下級生のめんどうを見るとか、水泳ぎの時などいろいろ注意するなどして組をまとめていたようでした。そのころの川は水もきれいだし泳ぐ場所も方々にあつて結構楽しいものでした。また秋の運動会、1月1日の四方拝、2月11日の紀元節、10月31日の天長節、祝日の式典なども思い出として浮んでまいります。又今の校舎が新築された時、屋根瓦の一部はその当時の上級生が授業が終つてから瓦工場から背負つて運んだものだと聞かれた事も記憶として残っています。また、大正時代に作られたと聞いた仰げば高し泉岳と歌われた校歌もなつかしい思い出の一つです。私達が6年間通ひ続けた学舎として印象深い校舎が数々の思い出を残して今取払われようとしています。ちょっぴり淋しさみたいなものを感じます。けれども、その後には立派な鉄筋コンクリート2階造の新しい校舎が出来ると聞いています。古いものが新しいものに変っていく、これも時代の流れでしょうが、今昔の感ひとしおなるものがございます。それにしてもこれから新しい校舎で学んでいかれる生徒のみなさんの健やかでのびのびと心ゆたかに育つて行かれる事を心から念じたいと思います。(昭和3年卒)

思 い 出 多 い ま な び や

高 橋 長 一

私は昭和3年4月右側は実沢尋常小学校、左側は実沢農業補習学校の石造りの高い校門をくぐつて入学しました。校舎は玄関を中心に西に3教室、東に3教室の6教室だけで、その中に農業補習学校の生徒が入っているわけですから、小学生の入る教室は5教室です。ですから、何年生かは2クラス入らないと修まらない窮屈さです。職

員室は玄関が兼用で、校長も同じに机を並べ、一日中暗い、狭苦しい室で、職員室の
前を日に何回となく通るとき、先生方は大変だなあと思い続けていました。

1年生のときの9月29日朝香宮鳩彦王殿下が、当時広瀬河原にあるユニック炭酸
水工場に現地視察として来村されました。その帰りに実沢小学校に寄られ、記念のお
手植松が残されました。

6年生の時、担任は西方校長先生で、工作が大変好きでした。大工道具一式を7組
も購入し、5・6年の男生徒で、椅子作り、ちり取り作り等をしました。秋になると
イナゴ取りです。授業2時間位で、べん当をもって出かけ、正后過ぎまで取りました。
それを売った代金で、ドッチボール等の購入資金にしたものです。イナゴ取りの時、
晴れた秋空の土手で、3人、4人と並んで、べん当を食べる時の楽しさは、忘れられ
ないものでした。冬の寒さの来る前に、ストーブ用の枯木取りで、これも授業2時間
位で、ひとりひとりなわを持ち、自分で背負う位ずつ取ってきました。

当時の先生は、黒板の下に、60cm位のもとの太い竹むちを置かされたもので、授業
中、よそ見をする者やしゃべる者へは、この竹むちで、びしゃりと頭をたたかれたり、
机をたたかれることが何よりもこわかったものです。どの先生もいかめしい態度の先
生ばかりで、寄りつくことのできない先生、ずい分とこれでやられました。他に数々
の思い出がありますが、与えられた字数の中では書き尽せません。最後に、老朽の学
舎、時代とはいえ、消えし名残りを惜しむ。(昭和9年3月卒)

尋常小学校最後の卒業

高橋忠治

私たちが実沢小学校へ入学したのは、昭和十年四月ですが当時学童服、ランドセル
というのは稀で大部分の人たちは着物でした。新しいものといえば帽子と鞆位でし
た。校門を入ると左に柳の木、その脇に車井戸があり、さくらんぼや柿の木などが道
路ぞいにありました。右側には火の見櫓、藤棚、奉安殿と並んでおりました。

教室6教室で、今の玄関の所が職員室で、校舎の東端に校長住宅がありました。が、
間もなく移転し、この跡に二教室増築されたのもこの年だったと思います。

私たちの学年は人数が多く、一年生の時は60名以上いたのでなかったかと思いま
す。家庭の事情等で、途中で転出や転入の方もあり、卒業の時は58名でしたが、高

学年になるに従って、通路もない位の鯨づめ状態で学習をいたしました。

四大節は休みですが、全員登校し三年以上は袴を着用した様に記憶しております。モーニングコートに身をつゝんだ校長先生が白い手袋で奉安殿より、御眞影と教育勅語を捧げ持ったのを並んでお迎えし、式終了後、みかんかミルクパンをもらって帰ったものでした。また、十月九日は青葉神社の祭りという事で、学校に集まり校長先生のお話の後、みんなで熊野神社に行き、赤飯、餅などをもらったものでした。

昭和十二年支那事変が始まると、米の供出制度が出来、倉庫不足で体操場が倉庫がわりに使われました。よく米俵にあがって遊んではしかられたものでした。

この頃より、モンペがはやりだし、男の子もモンペ姿で登校しましたが、よその地域に行くと、暫くの間笑われた記憶があります。昭和十五年頃になると、出征兵士の家も多くなり田植時期には人手不足と云う事もあって、早く終わった家の生徒達でお手伝いに行きましたのが、勤労奉仕の始まりではなかったかと思えます。

昭和十六年四月から、尋常小学校から国民学校にかわりましたので、私達が尋常小学校最後の卒業生になりました。(昭和16年卒)

戦 時 中 の 小 学 校 生 活

星 まつ子

メリヤスの下ズボンにニコニコの木綿の着物、肩かけ鞆をさげてゴム靴をはき、父親に手をひかれて、学校の門をくぐったのは40数年前の昭和11年の春、軍国の色が濃くなっていく頃でした。春は苗代の害虫取り、夏は白菜、大根の青虫退治、秋はイナゴ取りとストーブの薪集めと、よく遊び、よく働く小学生だったと思います。お正月になると、もちを持ってきて、薪ストーブのまわりで、先生の目をぬすんではせんべい焼きをして食べて楽しんだものでした。2年生の頃から、日中戦争が始まり、戦果を祝って日の丸の小旗を手に祝賀行列に加わり、小さい心をときめかされました。そして、衣食がだんだんつまっていきました。4年生の時、私達女の子には、裁縫の時間があって、布がたやすく手にはいらなくなり、母が朝5時に起きて根白石の町まで買いに行って、求めてもらったのが、水色に白と黄色のほかけ舟のもよりの布でした。かんたんなワンピースを縫い、手を通したときの喜びは、昨日のここのようです。その後は、新しい布は手に入らなくなり、裁縫の時間は古い布の利用しかできなくな

りました。出世兵士の留守家族への勤労奉仕の作業が多くなって、秋のとり入れの時は、午前中が勉強で午後は作業に出かけて行きました。5年生のとき、春の遠足は、松島でしたが、暗いうちに学校を出発して、途中で朝ごはんのおにぎりを食べ、岩切まで歩いて行きました。6年生の時に国民学校となり、生活物質がますます少なくなりました。雪の降り始める頃、長靴が2足クラスに配給になり、その1足が私にあたり、とびあがって喜びました。はいてみたら小さな穴があり水もれがしてがっかりしました。12月8日には大平洋戦争に突入し、身のひきしまる思いで卒業しました。戦争に明け、戦争で終わった小学生時代でしたが、幸いに身体が丈夫で、6年間無欠席でした。玄関前の松の樹と旧校舎は昔も今も変わりなく、時代の流れをだまってみてきたことと思います。 (昭和17年 卒業)

よく働き、工夫して遊んだ小学の頃

渡 辺 昭

私達は昭和22年生まれで戦後のベビーブーム時代でした。全部で60名で赤組、青組の2クラスでした。私達の時も新しい校舎を2つ増築してもらって入学した様に記憶しております。現在の体育館のそばにある2教室がその時の校舎です。戦後生まれですが、まだ現在の物の豊富な時代とは、ほどとおく、おもちゃというものは父や母につくってもらった物で両親の仕事のかたわらで遊ぶといったようなものでした。又休みも今と違って春休み、夏休み、冬休みは同じでしたが、田植え休みというのがありました。これは農村ならでのもので、ねこの手もかりたい田植えの時期に大人も子供も、いっしょになって田んぼにでて働いたものでした。小学2年位から田植の苗運び、代かきなど妹といっしょに大人とまじって働きました。よその地区からの手伝いの大人の人達にまじって働く事が、けっこう楽しかったものです。また夏休みはプールなどがなく川で魚とりや水泳をしたり、子供会で上級生の人達に勉強を教してもらったりして夏休みを過ごしました。秋には栗ひろい、イナゴ取り、あけびとりなど野や山をかけまわって歩いたものでした。野球も田んぼで秋の取りいれが終ってからやった思い出があります。冬はスキー田んぼに水をいれておいて自家製のスケートリンクをつくったものでした。学校ではほとんどソフトボールで上学年にはバット1本とソフトボール1ケがあり、休み時期は必ずといっていいほどソフトボールでした。今

とちがってテレビもあまり普及していなくて安部商店に友達とプロ野球、プロレス、月光仮面などを見にいったものでした。先生方もきびしく、よくいたずらをして「ピント」をもらったり立たされたりしたものでした。良い事、悪い事をはっきり教えてもらったと今では感謝しております。 (昭和35年3月卒業)

放 送 係 の 思 い 出

赤 間 信 一

私は、実沢小学校に昭和37年4月から、昭和43年3月まで在籍しておりました。入学した当時は、まだ今の体育館ではなく、木造の講堂がありました。あまり前の講堂のことは覚えておりませんが、4年生の頃、講堂が取り壊われ今の体育館が出来上がったのは良く覚えております。その頃はまだ、根白石や福岡小学校が古い体育館を使っておりましたので、実沢小学校だけが、「グッ!!」と近代的に思えました。そのような立派な体育館で遊んだり、運動したり、学芸会をやった事が、思い出されます。

次に思い出される事は、5・6年生の時、私は放送係をやっておりました。その頃の仕事は、お昼休み時間の放送と、帰りの時間の放送をする事でした。一番難しかったのが、昼休みに放送する、放送劇を作る事です。これは放送係5～6人が放課後、放送室に集まり、1人1人配役を決めてテープに収録するのです。でも、それがみんなでふざけてばかりいて、なかなか出来上がりませんでした。又、放送室が狭いため部屋の中が靴下の臭いで、その他の臭いで、長い間入ってられない事もたびたびありました。やっとの事で出来上がり、いざお昼休みに放送すると、おかしい音が、入っていたり、また、まちがったせりふを流したりなどで、大笑いになることもあり、とても楽しいものでした。この間、学校に行きましたら、私たちが使ったアンプが置いてあるのを見つけました。そのアンプを見ていたら、放送係をしていた頃を、フッと思い出しました。

今、あの頃を思い出しますと、私が学んでいた時に、体育館やプールが出来たのもうれしい思い出ですが、それ以上に、先生に叱られたり、友達との事が、やはり一番の思い出です。

(昭和43年3月 卒業)

「か く れ ん ぼ」

渡 辺 匡 子

入学して初めての夏。もの凄い雷が、昼下りの空を駆け抜けていきました。教頭先生がせっかく紙芝居をして下さっているのに、私はただ恐くて、母が迎えにきてくれた時は、すがりついて泣いたのを今でも覚えています。又、あの頃は雪が多かった。吹雪になると、6年生を先頭によく集団下校をしたものです。横なぐりに吹き込んでくる雪が、ランドセルの中まで…。教科書もぬれたものでした。

今、小学校の頃の思い出と言われて、一番鮮明に覚えているのは、5・6年の頃にはやった「か・く・れ・ん・ぼ」校舎の脇に、ストーブに使う石炭や、学芸会で使ったもの等をいれておく小屋みたいな所があって、鬼が火のみやぐらのところで、百数える間に、その小屋に隠れるのです。その中は隠れる所がいっぱいです。運動会で使った玉ころがしの中、使い古して壊れた机、石炭の中、真白いはずのトレパンが鬼に見つかった時にはまっくら。夕方、暗くなるまで、夢中で遊んでいました。不思議と、この出来事が、私の胸の中で、一番記憶にある事なのです。

今の子供達にも、こういった遊びは残っているのでしょうか。団地化、都市化が進むなか、「か・く・れ・ん・ぼ」などという遊びもなくなっていくのでは……………。

あの頃は、まだ静かでした。田舎といえば田舎で、私達はのびのびと遊びに専念できたのです。ペッタ、ビー玉、ドッチボール、野球、かくれんぼ……………。その中から人間関係や、物事の善悪を学んだような気がします。

校舎が新しくなって、物質的にも恵まれたなかで育ってゆく子供達に、学習面だけに走らず、遊びのなかから、いろんな事を学んで、大きくなってほしいと思います。

57年度市費予算

学校 管理 費	賃金	90,400	教育 振興 費	報償費	78,600
	旅費	120,000		需用費	235,140
	需用費 (食料費)	1349,620		一般教育備品	45,000
	役務費	124,420		教師用図書	35,700
	原材料費	60,000		図書館用図書	251,600
	備品購入費	282,000		負担金	37,400
				県費旅費	992,000

57年度PTA予算

収入の部	会費		支 出 の 部	総務委員会		研修委員会		福利厚生委員会	
	繰越金	510,000		22,917	事務費	25,000	研修費	125,000	表彰費
雑収入		26,000	会議費		図書費	10,000	学芸奨励費	90,000	
			負担金		両親学級費	20,000	体育助成費	30,000	
			報償費				慶弔費	30,000	
			放費				環境整備費	4,500	
合計	558,917		小計		小計	155,000	小計	220,000	
			予備費	8,917	合計	558,917			

昭和57年度PTA活動一覧

月	事業	事業内容	月	事業	事業内容
4	総会	事業計画、予算決算	9	市連P研修会	市連P研修会に参加
	役員会	役割分担 計画作り		研修委員会	新聞発行
	研修委員会	新聞発行		役員会	夏休みの反省
5	運動会奉仕作業	運動会に協力参加	10	研修委員会	新聞発行
	役員会	研修旅行 奉仕作業	11	校区運動会	校区運動会に参加
	研修委員会	新聞発行		役員会	研修会、奉仕作業について
6	福利厚生委員会	研修視察旅行の計画	西部地区研修会	PTA活動について情報交換	
	奉仕作業	草とり、植木の移転、手入れ	奉仕作業	植木の移植	
7	研修視察旅行	山形方面	1	役員会	お正月子ども会 奉仕作業について
	役員会	実小まつり協力、プール清掃		お正月子ども会	お正月子ども会に協力
8	実小まつり	実小まつりに参加協力	2	父親学級	授業参観、懇談会
	市連P・ ふるさとまつり 準備	市連P・バレー大会出場		研修委員会	記念誌の発行準備
	市民ふるさと まつり	参加について、おみこしなど ふるさとまつりに参加	奉仕作業	校舎移転奉仕作業	
3			役員会	57年度の反省	
			総務委員会	58年度計画	
			監査会	会計監査	

建物の概要

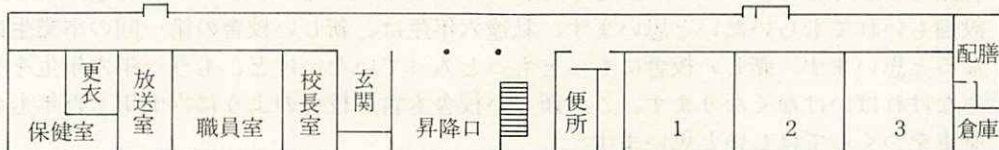
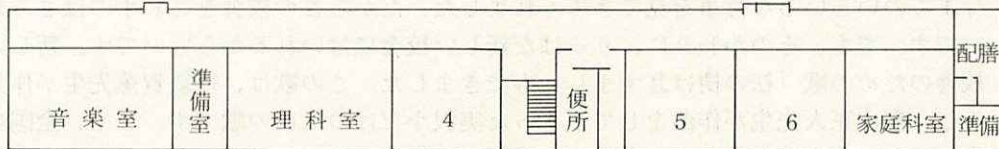
位置	泉市実沢字一本橋20
敷地面積	10423m ²
延床面積	1,485.575m ²
床面積	1階 739,612.5m ² 2階 745,962.5m ²
渡り廊下	46,00m ²
構造	鉄筋コンクリート造2階建
設計	柏建築設計事務所
施行	熱海工務店・東日下建設 建築共同企業体
着工	昭和57年7月3日
竣工	昭和58年3月10日
工事費	192760千円
設計料	4234
計	196994
その他	12281
事業費合計	209275

設備の概要

電気設備	(1) 電灯コンセント設備 全館蛍光灯照明設備、コンセント設備
	(2) 幹線動力設備
	(3) 電話配管設備
	(4) 時計拡声設備

- 親時計 水晶式2回路 ○子時計
 - 時報器 ○拡声設備、増幅器
音量調整器 スピーカー
 - (5) インターホン設備
○電話形同時通話方式
 - (6) テレビ共聴設備
○アンテナVHF(1形) UHF(1形)
○テレビアウトレッドUV-SU-7-7
UV-SU-7-R
 - (7) 火災報知設備
 - (8) 外灯設備
- 給排水衛生設備
- (1) 実験機設備
 - (2) 衛生器具設備
○和風大便器 VC-317+VL-630×13
VC-360+VL-630×1
VC-317+TV173×10
○小便器 VU-420+T60P×8
 - (3) 給水設備(直結給水)
 - (4) 消化設備
○消火ポンプ ユニット形
65A×300ℓ/min×38m×5.5kW
モーター駆動
 - (5) 排水通気設備
○分流方式 ○回路通気、伸頂通気
 - (6) 屋外排水設備
 - (7) 換気設備
 - (8) ガス設備
○LPガス

泉市立実沢小学校新校舎平面図



よろこびの声

念願の新校舎完成に感謝して

P T A 会長 赤 間 武 夫

長い間、これ程待ちどろしい事はなかったといっても過言ではないと思う程、新校舎建築の話があつてあら、長い年月がたちました。最初はトイレだけでもとか、サッシ戸、屋根瓦、天井といった一部分だけの改築で、校舎全体というわけにはいきませんでした。

しかし、今となって、こんなに嬉しいことはなく、今までの苦労は消えてしまい、新校舎が完成してよかったという気持ちでいっぱいです。

ふりかえてみますと、私が P T A の会員になったのは、今から 10 年程前の事でした。その頃は、それ程校舎のことなど気になりませんでした。世の中が急激に変化し、周囲の山々は宅地に開発され、家が建ち並ぶようになりました。昔からの実沢地区は、農地が多いために宅地に開発されることもなく、人口も増えず、児童数は減る一方なので、教育委員会でも建築を見合わせる様な説明会を何度か持たれました。しかし、同じ市民であるわが子供達に同じ条件のもとで勉強させたいという親の気持ちは誰も同じのはずです。その念願がかない、ここに立派に完成したということは、これまでに、精一杯努力して下さいました促進委員の皆様を始め、市の関係機関のおかげであると思ひ、P T A を代表して、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

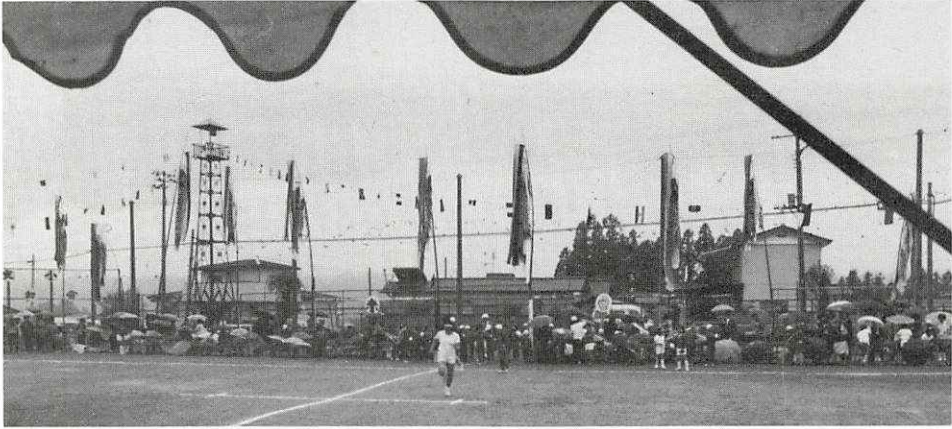
新 し い 校 舎

六 年 梅 津 公 恵

私達は、新しい校舎に、一カ月ぐらいしか入れません。入れないよりはいいけれどももっと、長い期間入りたかったです。私達は、一年生の時から、この古い校舎に入ってきました。だから、この校舎をこわされるのはちょっとさみしいような気がします。この古い校舎は、六十年ぐらいの長い歴史をもっています。泉市には、今、木造校舎は、二校しかありません。その一校をこわすのです。一年生からの六年間では実小祭りや運動会、学芸会などいろいろなことがありました。この校舎は、そういう今までのいろいろな行事を見てきてくれました。だからこの校舎をこわすのはさみしいです。でも、そのかわりに、りっぱな新しい校舎には入れるからいいです。新しい校舎のための歌「松の樹は耳すまし」もできました。この歌は、横須賀薫先生が作詩をし、梶山正人先生が作曲をして下さった実沢小だけのための歌です。でも、全国の人にうたってもらえるような名曲です。新しい校舎と新しい歌ができたついでに、体育館も新しくしてほしいです。そして、バレーのネットやバスケットができるような設備もいれてもらいたと思います。私達六年生は、新しい校舎の第一回の卒業生になると思ひます。新しい校舎にもっともっと入っていたいけど、もう一年六年生をやらなければいけなくなります。この新しい校舎も古い校舎のように六十年も百年もの歴史をつくってほしいと思ひます。

実小
の
一年

→ 実小の子を見まもってきた松の樹



← たちならぶ こいのぼりのなかで
大運動会



← きれいにできた七夕かざり
実小まつり



↑すくすくのびる一年生



←プールそうじーPTA奉仕作業



←植木の移植ーPTA奉仕作業



「おあいっしょい」
 ↓ お母さんの出店
 実小まつり



→ 学芸会



味は上々
 ← いもに会



← 秋の遠足 — 交通公園 — 下学年

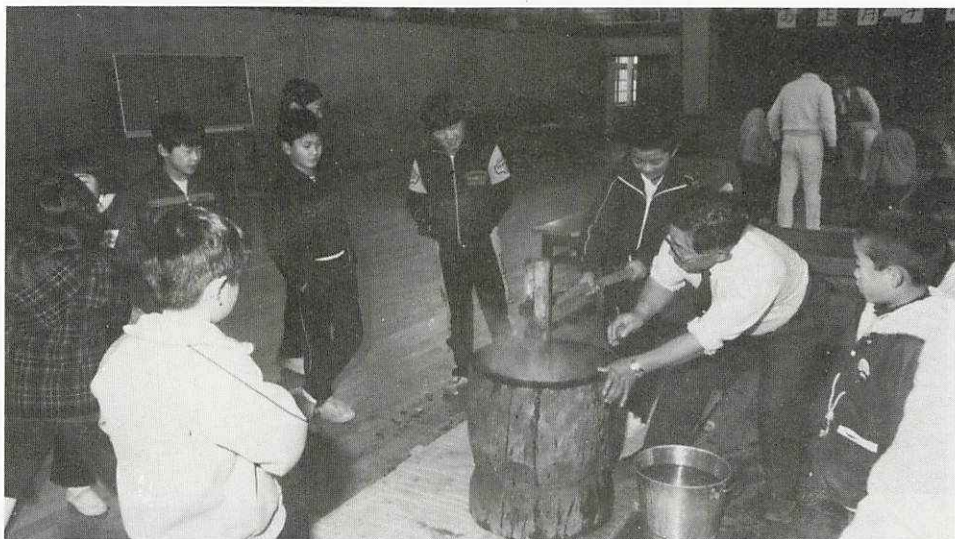


→ 秋の遠足 — 平清水 — 上学年



← 朝の活動 — 準備運動

→カをいれてペタンコ
お正月子ども会



→カいっばいすべろう
スキー教室



←待ちに待った新校舎引越し



← 苦しくともさいごまで
マラソン大会



→ 栄光のメダルをむねに
マラソン大会



みんな なかよく 元気よく・・・朝の活動

新校舎内のスナップ



玄関



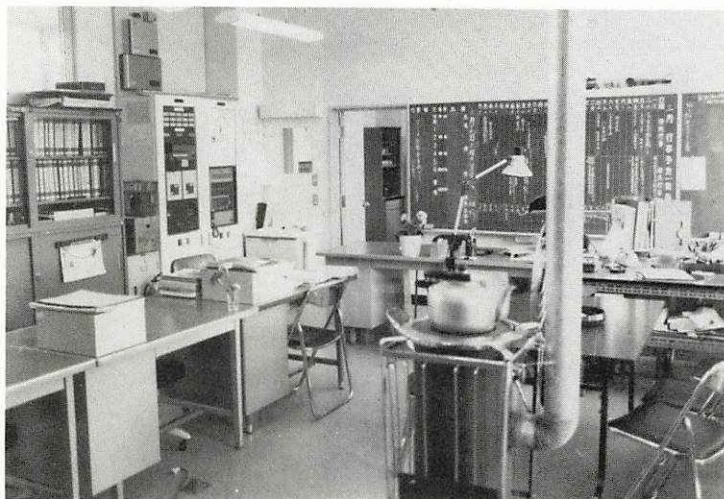
昇降口



校長室

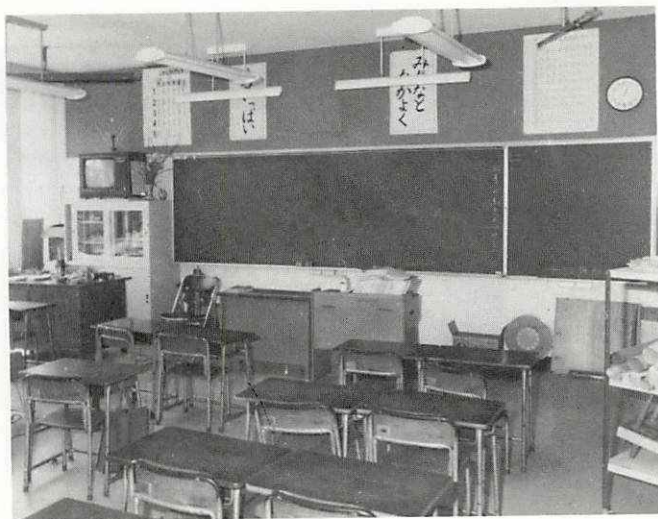


一階廊下

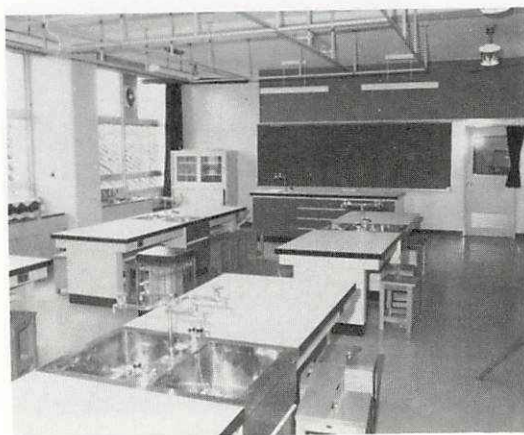


職員室

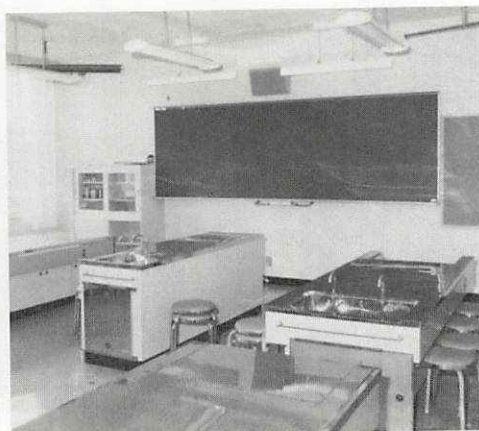
普通教室と特別教室の一部



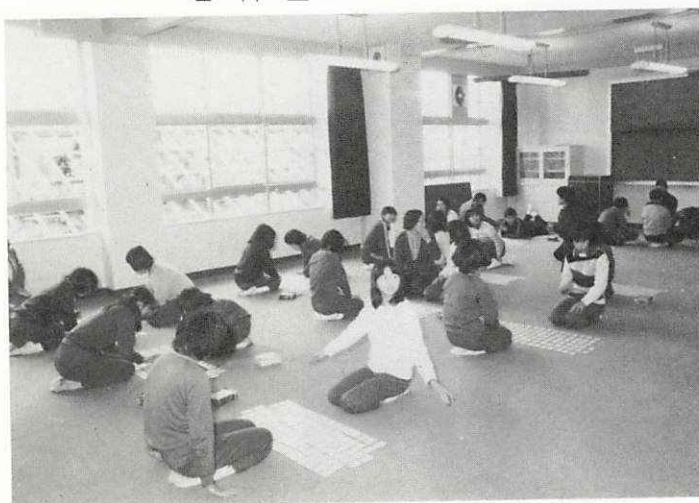
普通教室
他に保健室、準備室、給食配膳室、放送室があります。
旧教室、体育館へは屋根つきの通路ができました。



理 科 室



家 庭 科 室



音 楽 室
(カーペット敷き、小集合もここで行う)

泉市立実沢小学校校舎改築記念誌

さ ね ざ わ (非売品)

昭和58年 3月30日 発行

発行者 泉市立実沢小学校校舎改築促進委員会

委員長 伊 東 徳 得

発行所 泉 市 立 実 沢 小 学 校

泉市実沢字一本橋20

☎ 02237 9-2418

印刷者 (有) 今 野 プ リ ン ト

☎ 02297 2-1185
